



機殿まちづくり協議会会報
 第17号
 発行:2013:10:1
 機殿まちづくり
 広報編集委員会
 松阪市六根町
 TEL:0598-59-0351

環境・エコ推進部会 農業振興部会共催「生ゴミリサイクルについて」の講演会を開催
始まりは「高齢者の生きがいつくり」から
 いま各所から ごみの減量や無農薬野菜として高い評価が！

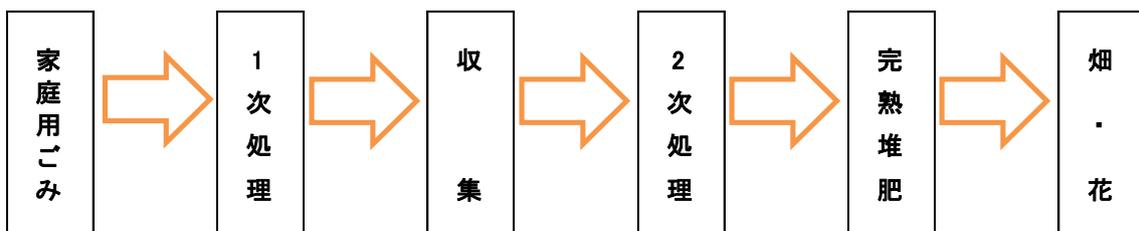


平成25年8月5日機殿地区市民センターに於いて、環境・エコ推進部会と農業振興部会は合同で講演会を開催しました。

講師はNPO法人「生ゴミリサイクル 亀さんの家」理事長亀井静子さん他2名にお世話になり、テーマを「生ゴミリサイクルについて」として講演をいただきました。

当グループは、平成9年「高齢者の生きがいつくりと地域の活性化」を目標に活動を開始され、現在は会員数を90名にまで増やされ活躍されています。

生ゴミのリサイクルとは家庭用生ゴミから1次処理・2次処理の過程を経て完熟堆肥を作り、この堆肥を施用し野菜を消毒することなく栽培され、食卓に供給される一連の回転をいいます(循環型リサイクル)。これらの堆肥を施用した野菜は、病気で体調を気遣っておられる方々、レストランなどに高い評価を受けています。



1次処理においてはリンゴ箱を利用しますが、このリンゴ箱は秋に市場にて譲り受け、上面にポリカ(透明樹脂)を置いてリサイクル容器とし、生ゴミ処理の作業を進めていきます。他、床材の材料となるモミガラ・米ぬか・粘りのある土・落ち葉等についても地域の方々の協力を得て、確保

されています。

当初は1次処理の過程で悪臭に苦労されたとの事ですが、現在ではベランダにリンゴ箱を置いて処理作業をされている会員さんもいるとの事です。サンプルとして講演会場に持ち込まれた1次処理途中のリンゴ箱の中身は無臭の状態でありました。

講演最後の時間には、生ごみリサイクルに興味を持った多くの方々の質問があり、有意義な時間となりました。



Q & A

Q：床材の材料の構成比は？

A：モミガラ8 米ぬか2 粘りのある土1 落ち葉1~2 (容積)

Q：落ち葉の代わりに枯草を利用できないか？

A：多様な微生物を利用する為に枯草のみでは良くない、様々な落ち葉を使う。

Q：大きな生ごみはそのまま入れてよいか？

A：小さくしてから使用します、貝殻は入れてはいけません。

Q：どんな種類の野菜を栽培しているのか、また、出来栄は？

A：色々な野菜をたくさん作っている、化学肥料のものと比べて成長が遅れるが、体に良い食材として好まれている。

*詳しい資料が御入用の方は市民センターまでお問い合わせください。

(広報編集委員 安部)

ご覧ください!!!

BIFOR と AFTER

市民センター周辺の花壇の除草作業を実施

環境・エコ推進部会



8月18日(日)午前7時より、市民センター周辺の花壇の除草作業を行いました。

この作業は、8・9・10月の3回を予定しています。

1回目となる今回は、環境・エコ推進部会の中川一郎さん、西出利明さん、池田好美さん、三宅みどりさんの4名に参加いただきました。あらかじめ、部会長に管理機で周辺をたがやしていただき、当日はつる草や細かい草の除草作業を主に行いました。1時間ほどで軽トラック一杯分があり、さっぱりときれ

いな花壇になりました。

なお、2回目を予定していた9月15日(日)は、台風接近のため延期となりました。

(広報編集委員 中川)

暑かったなあ
元気やった？

恒例の新たなごみ会
は9月19日開催



近くに住んでいてもなかなかゆっくり会えることはすくなくて、ほんとうに久しぶり。当番さんが作ってくださったおはぎをいただいて2時間ほどほっこり、まったり。



今月は18名があつまりました。皆様もぜひどうぞ。

(情報提供：会員さんより)

収穫が楽しみ

秋じゃがの植え付け作業を行いました

農業振興部会

農業振興部会では、部会年次計画に基づき、秋じゃがの植え付け作業を行いました。



当初、9月16日を予定していましたが、台風18号の通過による大雨のため、圃場の乾きを待って、9月21日に、あらかじめ準備していた畝に、品種(ニシユタカ)の種芋を川島町で借り入れた約8aの畑に、種芋の切断・消毒・植え付け作業を行い、会員一同、秋の気配の感じられる陽気の中、半日をかけさわやかな汗を流しました。

尚、部会では皆様にも進んで取り組んでいただけるよう、地域に適した野菜を今後も模索していきたいと考えております。

又、例年通り収穫には、地域の方々と共に喜びを味わいたいと考えています。改めて広報等を通じてお知らせさせていただきますので、是非ご参加頂けたらと思います。

(広報委員 溝田)



生ごみアンケート集計報告（環境・エコ推進部会 部会長 中川 一郎）

ご回答の皆様 ご協力まことにありがとうございました。

生ごみ処理の方法		井口	中川	腹太	六根	保津	魚見	新開	川島	東久保	合計
町名		中	原	太	根	津	見	開	島	保	計
田・畑に還元している		3	2	8	11	15	11	5	8	9	72
燃えるごみで市に回収		17	13	14	29	27	51	16	5	33	205
コンポスト	使用中	2	3	20	8	9	13	5	6	15	81
	始めから不使用	3	2	0	2	1	5	0	1	1	15
	所有しているが不使用	1	0	2	0	4	8	1	5	3	24
生ごみ処理機使用		0	0	2	1	1	4	0	0	1	9

コンポスト・生ごみ処理機購入時補助金があることを知っていますか

コンポスト：知っている	5	3	10	7	11	21	5	5	16	83
コンポスト：いいえ	4	15	8	12	10	13	4	5	10	81
生ごみ処理機：知っている	0	0	2	2	1	3	0	1	1	10
生ごみ処理機：いいえ	5	17	16	13	14	20	9	6	18	118

*9月の広報・回覧にありましたチラシ「ご存知ですか」は生ごみ処理容器・生ゴミ処理機購入時に松阪市から補助金があることのお知らせです。まだの方はどうぞご覧ください。

10月 11月 12月の行事予定（平成25年10月1日現在）

詳細は追ってチラシ、広報その他によりお知らせします。

10月 3日	家庭菜園の講習会	（農業振興部会）
10月 4日	市民センター周辺の花壇の除草	（環境・エコ推進部会）
10月(4~19日)	ふれあい健康づくり座談会 各地域	（健康福祉部会）
10月 12日	防災講演会	（安全部会）
10月 20日	健康ふれあいうオーキング	（健康福祉部会）
11月 6日	先進地視察研修（滋賀県 近江八幡）	（農業振興部会）
11月 24日	防災訓練	（安全部会）
12月 8日	じゃがいも掘り	（農業振興部会）
月例事業	新なごみ会	（健康福祉部会）

（編集後記）きびしかった夏の暑さも過ぎ秋の気配も深まってまいりました。

皆様の健康を願いつつ秋の号をお届けいたします。（広報編集委員一同）